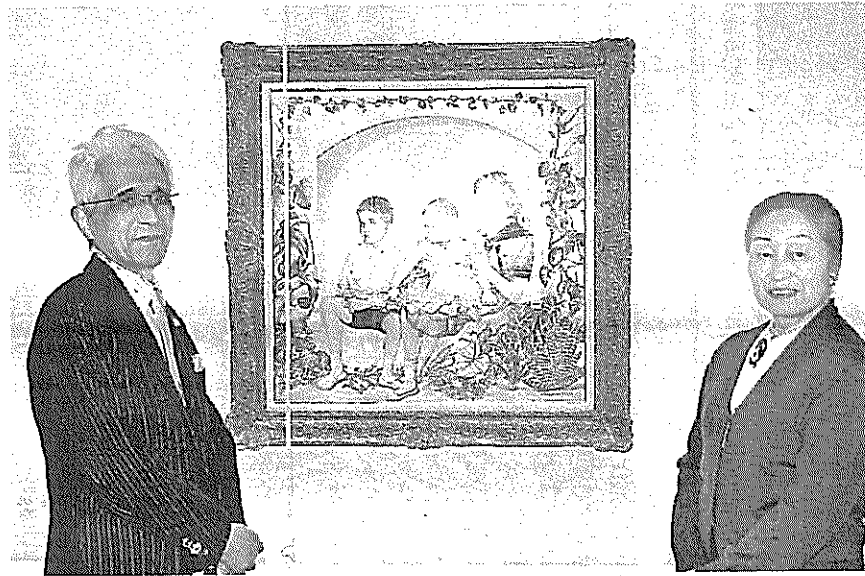


平成31年3月7日 サンケイ新聞



藤田嗣治の作品「庭園の子ども達」の前でほほ笑む藤田嗣隆さん（左）と神崎眞子さん＝6日、聖徳博物館（江田隆一撮影）

聖徳博物館「フジタとイタクラ」展

## 嗣治と鼎の子孫が対面

藤田嗣治（明治19～昭和43年）と、板倉鼎（明治34～昭和4年）・須美子（明治41～昭和9年）夫妻の作品を展示した企画展「フジタとイタクラ」が開催されている聖徳博物館（松戸市岩瀬）を6日、双方の画家の子孫が訪れ、作品の前で対面した。藤田は日本とフランスで活躍した洋画家。一方、松戸で育った洋画家の鼎は妻で画家の須美子と一緒にパリに留学して旧東京美術学校の先輩である藤田と親交を深めた。

この日、博物館で対面したのは藤田のめいの長男の藤田嗣隆さん（81）と、鼎のめいの神崎眞子さん（78）。眞子さんは「嗣隆さんの横顔は、鼎と写る写真の藤田画伯の横顔とよく似ている」、嗣隆さんも「（眞子さんとは）初対面とはとても思えない」と話した。

同展は16日まで（8～10日は休館）。入場無料。